

平成28年度進行管理・評価シート
奈良市歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）
（最終変更平成29年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画(眺望景観保全活用)	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業	3
2 史跡興福寺旧境内保存修理事業	4
3 都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)	5
4 都市景観形成地区建造物保存整備事業 (指定・選定以外の建造物)	6
5 奈良町町家バンク事業	7
6 文化財調査事業	8
7 三条線電線類美化事業	9
8 猿沢線街路整備事業	10
9 歴史的風致形成建造物保存整備事業	11
10 ナラ枯れ等対策事業	12
11 奈良のシカ保護育成事業	13
12 伝統的建築文化継承事業	14
13 なら工芸館活用事業	15
14 伝統祭礼・行事助成事業	16
15 奈良大茶会珠光茶会開催事業	17
16 春日大社写生会及び清書会開催支援事業	18
17 なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業	19
18 入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業	20
19 入江泰吉旧居活用事業	21
20 奈良町にぎわいの家活用事業	22
21 観光案内板整備事業	23
22 文化財解説板整備事業	24
23 奈良まちかど博物館事業	25
24 観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)	26
25 史料保存館活用事業	27
26 文化財講座開催事業	28
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定	29
2 文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全	30
3 文化財の防災	31
4 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	32
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 奈良県観光活性化ファンド第1号青田家住宅 優雅な花街文化体験を「ならまち花あかり」 奈良町からくりおもちゃ館	33
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 「観光の振興」に向けた官民協働の取組	34

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	35
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
計画の実施・推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 景観まちづくりの担当部局である都市整備部景観課、観光担当部局である観光経済部奈良町にぎわい課、文化財保護担当部局の教育総務部文化財課を中心とした庁内組織である「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「なら歴史まちづくり推進協議会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

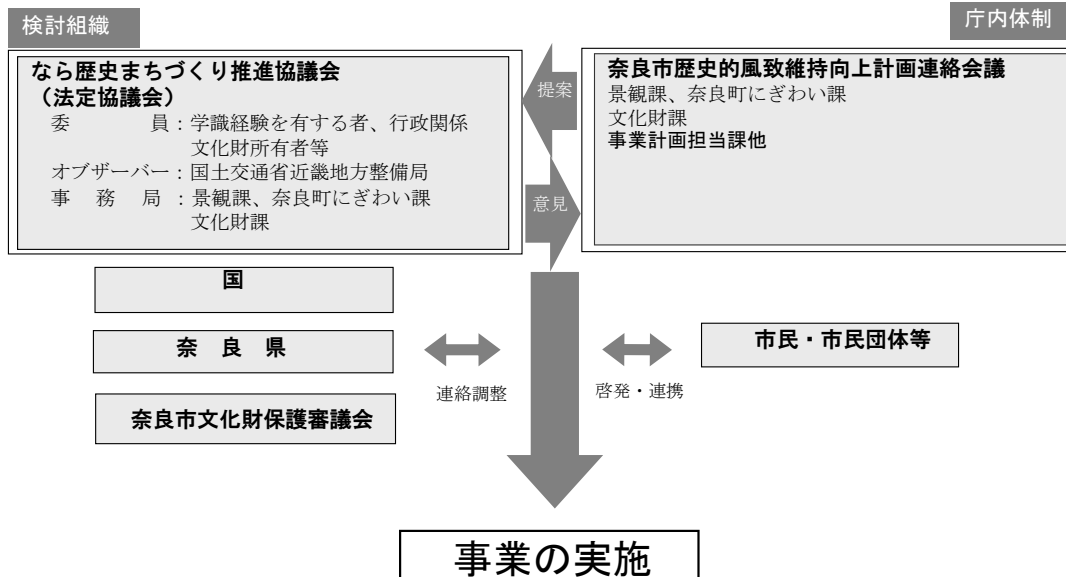
「奈良市歴史的風致維持向上計画連絡会議」において、担当部局からの計画の一部変更について提案を受け協議を行い、平成29年2月23日に「なら歴史まちづくり推進協議会」を開催し意見を伺う。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



平成29年2月23日なら歴史まちづくり推進協議会の様子

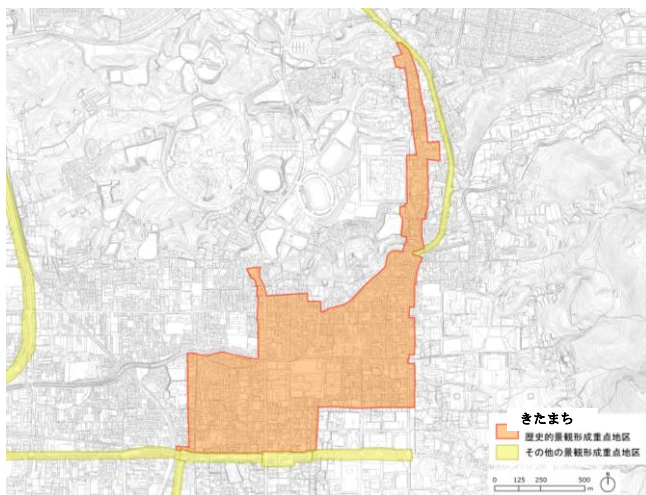
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
景観計画(眺望景観保全活用計画)		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	奈良市景観計画においては、市全域を景観計画区域に指定し、景観形成の方針やデザインガイドラインを定めている。また、元興寺周辺については奈良町歴史的景観形成重点地区に指定し、歴史的な町並みに配慮したきめ細かな景観の誘導を図っている。また、三条通り、大宮通りを沿道景観形成重点地区、近鉄奈良駅周辺とJR奈良駅周辺はまちなか景観形成重点地区に指定し、都市的な景観と歴史的な景観との調和を図っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良市眺望景観保全活用計画に基づく眺望保全、また奈良町の歴史的風致の維持向上をより効果的に推進するため、「ならまち歴史的景観形成重点地区」並びに「きたまち歴史的景観形成重点地区」の指定を行い、基準を設け建築等行為において届出を行っている。また、高さ25mを超える建築物等の新築等行為については、届け出の前に事前協議制度を設け眺望景観に関する影響評価を実施し、奈良らしい眺望景観の保全に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●きたまち歴史的景観形成重点地区

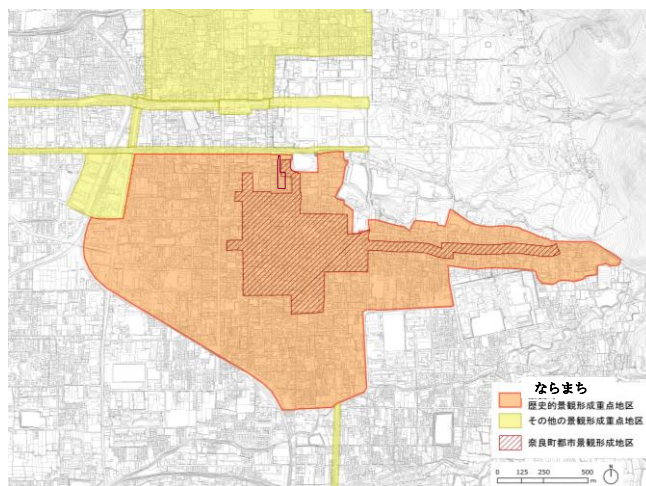


●奈良市を代表する眺望景観



大池からの眺望

●ならまち歴史的景観形成重点地区



平城宮跡からの眺望

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況			
国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成22年度～平成28年度					
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金、県単独事業市単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)					
計画に記載 している内容	本社本殿ほか13棟の保存修理を行う。 (経年による檜皮葺及びこけら葺屋根の破損や塗装の剥落等がみられるため) 修理内容: 屋根葺替の他、塗装修理、部分修理を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付した。 事業内容: 平成28年度は、経年による檜皮葺の破損や塗装の剥落等がみられる、本社本殿および本社宝庫の屋根葺替・部分修理・塗装修理が行われた。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						

状況を示す写真や資料等

●本社本殿(修理後)



●本社宝庫(修理後)



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
史跡興福寺旧境内保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成10年度～平成36年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金、県単独事業市単独事業(奈良県文化財保存事業費補助金)、市単独事業(奈良市文化財保存事業費補助金)		
計画に記載している内容	興福寺旧境内の主要堂宇地区及びその周辺地区において、遺構等の保存・活用整備を行う。発掘調査を実施し、その成果に基づいて基壇の復元や表示による整備を行う他、案内板、解説板、管理用の柵や門等の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本事業に対し、文化財の保存が適正に行われるよう補助金を交付した。 事業内容:平成28年度は、中金堂北東回廊基壇復元工事が実施された。このほか、北西回廊基壇復元・園路工事のための材料購入が行われた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●中金堂北東回廊基壇復元(北東から)平成28年度 			
●中金堂北東回廊基壇復元(東から)平成28年度 			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
都市景観形成地区建造物保存整備事業(修理事業)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成 6年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～平成32年度、単独事業 平成6年度～		
計画に記載している内容	歴史的な町並みを保全するため、都市景観形成地区内にある戦前までに建築された建築物、工作物の外観修理に対して補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
戦前までに建築された建築物及び工作物(指定・選定建造物)を修理基準により伝統的な建築様式に外観を修理する工事に伴う費用の一部を助成し、歴史的な町並みを保全し、良好な住環境の維持を図っている。 平成28年度は2件の助成を行うとともに、奈良町の町並み保存のあり方を考える懇話会を開催し、今までの事業の効果を検証し、今後の事業方針について検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●平成28年度補助実績

	所在地	用途	主な修理内容	補助額(円)	補助率
1	奈良市鳴川町	寺院	屋根工事、木工事	4,558,000	70%
2	奈良市鶴町	店舗付住宅	屋根工事、塗装工事、建具取替	665,000	80%

※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。

※補助率 指定建造物:80% 選定建造物:70%

○修理工事例

1



【修理前】



【修理後】

2



【修理前】



【修理後】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
都市景観形成地区建造物保存整備事業(指定・選定以外の建造物)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成 6年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～平成32年度、単独事業 平成6年度～		
計画に記載している内容	奈良市都市景観形成地区内の歴史的な町並み景観を保全するため、空き地などに景観形成基準に適合する建築物や工作物を新築するときに、修景事業とし補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建築物や工作物を修景基準により新築する工事に伴う費用の一部を助成し、歴史的な町並み景観を保全し、良好な住居環境の維持及び育成を図っている。 平成28年度は2件の助成を行うとともに、奈良市の町並み保存のあり方を考える懇話会を開催し、今までの事業の効果を検証し、今後の事業方針について検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●平成28年度補助実績

	所在地	用途	主な修景内容	補助額(円)	補助率
1	奈良市今御門町	店舗	屋根工事、塗装工事 建具取替	3,742,000	50%
2	奈良市西寺林町	ゲストハウス	屋根工事、塗装工事 建具取替	3,283,000	50%

※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。

○修景工事例



【工事前】



【工事後】

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
奈良町町家バンク事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	登録したい人への説明会や登録物件の測量、町家の改修・活用事例の紹介、貸主と借主の仲介などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町家バンクの登録希望者に対しては随時面接を実施して制度について説明をしたのち、登録を行っている。利用希望者に対しては現地説明会を実施、貸主と借主の仲介を行っている。併せて、登録物件の調査を行い、ホームページで公開するほか、奈良町内の空き家調査を実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●町家バンクの登録状況 登録物件数(累計) 24件 利用希望者数(累計) 191件 成約数(累計) 9件 (平成28年12月末現在) 成立物件の活用事例 住居、店舗、ゲストハウス 等  登録物件の例			

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財調査事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	歴史資料調査 平成8年度～ 近世近代建物調査 平成24年度～ 庭園調査 平成24年度～平成29年度		
支援事業名	市単独事業（庭園調査は奈良市と奈良文化財研究所）		
計画に記載している内容	未指定・未登録文化財の調査及び資料収集を行い、その実態把握に努め、指定・登録など今後の保護を推進するための基礎資料を作成する。歴史資料調査、近世近代建造物調査、庭園調査等を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
<歴史資料調査>大宮家文書の調査を実施 <近世近代建造物調査>奈良町の町家2件の詳細調査を実施。その他、南部地域[帯解地区]で民家等の悉皆調査を実施。また、専門家から意見・助言を得るためアドバイザー会議を1回開催。 <庭園調査>住宅等24件、寺院等3件、企業等5件で調査を実施（うち5件は重点区域外）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●近世近代建造物調査



詳細調査:豊崎家 正面全景

●庭園調査

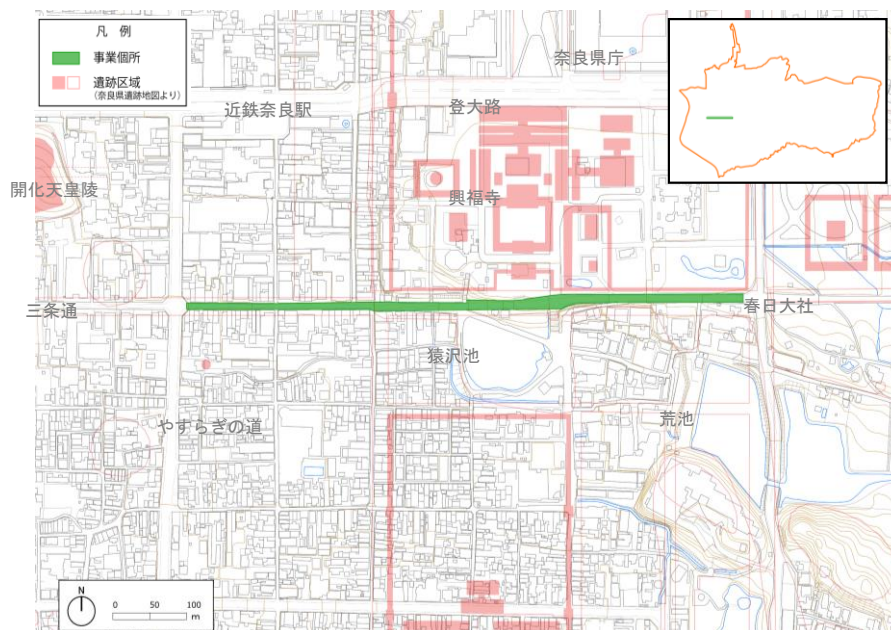


評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
三条線電線類美化事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成27年度～平成36年度		
支援事業名	市単独事業、防災・安全交付金の活用を検討(平成28年度～平成36年度)		
計画に記載している内容	三条通の上三条町から登大路町までの区間(延長約800m)の電線類の地中化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度以降第一期工区猿沢池西側から一の鳥居前まで。L=400m片側を関係者と協議を行い詳細設計を実施予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



三条線電線位置図(緑着色部分)



現況写真①



現況写真②

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
猿沢線街路整備事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	平成27年度～平成36年度		
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金(街路事業)の活用を検討		
計画に記載している内容	猿沢線の鶴福院町区間(延長120m)の道路拡幅を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地元でまちづくり研究会が立ち上がり、道路拡幅も含めたまちづくりについて話し合いが行なわれている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		地元まちづくり研究会と協働し勉強会を開催して、地元の意向を踏まえ事業を進捗する。	
状況を示す写真や資料等			

●現況写真



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成23年度～平成32年度		
計画に記載している内容	奈良市都市景観形成地区以外に点在している、歴史的建造物資産をいかに保存活用するかが大きな課題である。その課題に戦略的に取り組むため、奈良市重点区域内にある、建築物の外観修理に対して補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の外観を修理する工事に伴う費用の一部を助成し、重点区域内に点在する歴史的建造物資産の保存・活用を図っている。 平成27年度から事業を実施し、平成28年度は2件の助成を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●平成28年度補助実績

	所在地	用途	内容	補助額(円)	補助率
1	奈良市法蓮町	住宅	屋根工事、建具取替	6,359,000	80%
2	奈良市今図子町	住宅	屋根工事、塗装工事	3,888,000	80%

※補助額は補助対象部分の修理に要する経費に補助率を乗じた額。

※補助率 伝統的な形式を保ち、又は外観の改造(小規模なものに限る。)をしているが、周囲と調和しているもの:80%

外観の改造をしているが、伝統的な形式への復元が可能なもの:70%

○修理工事例

2



【修理前】



【修理後】

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
ナラ枯れ等対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	毎年		
支援事業名	県単独事業		
計画に記載している内容	ナラ枯れや鹿害への対策を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成22年8月に春日山原始林周辺で現地調査を実施した結果、ナラ枯れ被害を確認した。ナラ枯れ被害対策として、平成22年度に138本、平成23年度に363本、平成24年度に1,267本、平成25年度2,220本、平成26年度1,177本の駆除及び防除を実施した。平成27年度及び平成28年度においては、奈良県が航空機による調査を実施したところ、ナラ枯れ被害が減少していることが確認されている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 春日山原始林周辺の様子(奈良県提供)  春日山原始林周辺の様子(奈良県提供)			

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
奈良のシカ保護育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	県・市・春日大社共同事業		
計画に記載している内容	一般社団法人奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブへの補助を行い、頭数調査などの調査研究、負傷・疾病鹿の救助、巡回パトロール、人と鹿の共生のための各種イベント、角伐りなどの伝統行事を行う。また、鹿の生態調査、鹿の啓発看板設置などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良のシカの生態調査のため、頭数調査を行った。負傷・疾病シカの救助、保護を実施することで奈良のシカの健全な育成を推進した。鹿寄せや、鹿の角きり等の行事、イベントを実施し、シカを身近に感じてもらい、奈良のシカ保護育成への啓発を行なった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●平成28年度「奈良のシカ」生息頭数調査 ・調査日時 平成28年7月15日・16日 午前5時～8時 ・調査地域奈良公園域内 ・調査人員延べ75人 ○奈良公園の鹿の総数1,455頭 (うち鹿苑内収容頭数275頭) (平成28年7月16日現在) ①奈良公園内生息頭数 総頭数1,180頭(前年比-11) オス236頭(前年比+32) メス715頭(前年比-73) 子鹿229頭(前年比+30) ②鹿苑内保護収容頭数 総頭数275頭(前年比-29) オス164頭(前年比-16) メス111頭(前年比-13)			
			
		鹿の角きり行事	
			
		鹿寄せ	

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
伝統的建築文化継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	奈良の伝統的な社寺や町家等に用いられている建築技術の保存に向けたノウハウを伝え、後継者を育成するための講座の開催、建築の伝統的な技法に関する相談窓口の開催、また具体的に町家の修理や活用の実践などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的建造物の発掘・把握事業、保存に向けての啓発事業、保存に伴う技術の継承と方策提案事業、修理、改修・利活用の相談窓口事業を行い、保全・活用を継続的に実践できる体制づくりを進めるため、市民へ向けセミナーの開催、相談窓口を行っており、相談窓口において歴史的建造物の所有者等からの意見が聞けてきている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●平成27年度 ・第1回市民セミナー(8月23日) 奈良町にぎわいの家、奈良町物語館 テーマ:町家の生活文化、建築文化遺産の保全と活用 活用パネル展、相談室 (参加者31名) ・第2回市民セミナー(12月19日)まほろばセンター 第7会議室 テーマ:地域まちづくりのための資金調達システム 相談室 (参加者22名) ・第3回市民セミナー(3月5日)奈良市ならまちセンター 会議室3・4 テーマ:奈良の文化的景観と建築技術の継承 ～昔の写真で見る奈良の景観と現在の景観～ パネル展、相談室 (参加者23名) ●平成28年度 ・第1回市民セミナー(11月19日)イオンモール橿原 テーマ:林業～木材～住まい～基礎知識 相談室 (参加者25名) ・第2回市民セミナー(1月29日)東大寺総合文化センター テーマ:中井大和守の仕事・東大寺大仏殿再建 相談室 (参加者110名) ・第3回市民セミナー(2月19日)五条新町公民館 テーマ:伝統的町並み保全と防災、伝統技術 パネル展、相談室 (参加者 名)			
			
第2回市民セミナーの様子(平成29年1月29日) 東大寺総合文化センター			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
なら工芸館活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成12年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	奈良の工芸である漆器、一刀彫、赤膚焼、乾漆、古楽面、筆、墨、奈良晒、鹿角細工等の作品や制作道具等を展示する。また、伝統工芸品の斡旋販売も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画に記載している内容のほか、定期的に制作実演や制作体験を行っており、レンタルギャラリースペースでは作家や趣味の団体による展示会も頻繁に行われている。特に年に1回正倉院展の時期に合わせて開催される「奈良工芸フェスティバル」ではたくさんの来場者でにぎわっており、伝統工芸の観点から奈良の歴史的な景観の向上に役立っている。歴史的風致維持向上計画の他の事業と連携した特別展等を行う等により入館者数の増加を図っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(参考)過去3年間の入館者数

平成26年度 48,269人

平成27年度 46,305人

平成28年度 48,360人



若手作家による制作実演の様子

●制作体験教室

過去3年間の参加者数

平成26年度 762人

平成27年度 580人

平成28年度 371人



制作体験教室の様子

●奈良工芸フェスティバル

過去3年間の入場者数

平成26年度 5,741人

平成27年度 6,227人

平成28年度 5,453人



奈良工芸フェスティバル 展示・販売の様子(平成28年11月1日～11月6日)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
伝統祭礼・行事助成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統祭礼・行事である春日若宮おん祭、薪御能、采女祭、若草山山焼き等を行う団体に助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良市観光協会より伝統行事の保存会等へ補助金を交付することで、各種行事を実施し、多くの市民及び観光客等に、伝統文化を身近に触れてもらう機会を提供した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●春日若宮おん祭 【主催】春日若宮おん祭保存会事務局 平成28年12月15日: 大宿所詣、御湯立、大宿所祭 平成28年12月16日: 大和土宵宮詣、田楽座宵宮詣、宵宮祭 平成28年12月17日: 遷幸の儀、暁祭、本殿祭、お渡り式、 南大門交名の儀、松の下式、競馬、 お旅所祭、稚児流鎗馬、神楽、東遊、 田楽、細男、猿楽、舞楽、和舞、遷幸の儀 平成28年12月18日: 奉納相撲、後宴能  ●薪御能 【主催】薪御能保存会 平成28年5月20日: ・咒師走の儀(金春流能「翁」) ・南大門の儀(観世流能「通小町」、大藏流狂言「長光」、宝生流能「融」) 平成28年5月21日: ・御社上りの儀(金春流能「箆」) ・南大門の儀(金春流能「杜若」、大藏流狂言「蝸牛」、金剛流能「藤戸」) ●采女祭 【主催】采女祭保存会 平成28年9月15日開催 ・花扇奉納行列 ・花扇奉納神事 ・采女語り ・管絃船の儀  			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
奈良大茶会珠光茶会開催事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	茶道の源流ともいえる奈良の地で、「わび茶」を創始した奈良出身の珠光にちなみ、「奈良大茶会珠光茶会」を開催する。お茶席の開催だけでなく、その他のお茶に関する企画等も行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
来場者数 第一回(平成25年度)約5,900人、第二回(平成26年度)約7,400人、第三回(平成27年度)約9,400人 観光閑散期である冬の時期に全国各地から多くの方にお越しいただいており、成功している事業であると考えている。 引き続き、ならまち地区では元興寺、奈良町にぎわいの家等でお茶席を開催し、今後は来場者の周遊性がより高まるように検討する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



第四回奈良大茶会 珠光茶会 平成29年2月7日～12日

参加社寺:春日大社、東大寺、元興寺、大安寺、西大寺、唐招提寺、薬師寺、法華寺

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
項目			
春日大社写生会及び清書会開催支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	世界遺産春日大社で開催される写生会及び清書会に対する助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は写生会に約220名、清書会に約270名の参加があった。 世界遺産である春日大社の境内において、子どもたちを対象に文化活動の場を提供できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



平成28年7月23日(土)春日大社親子の写生会の様子



平成28年7月27日(水)春日大社清書会の様子

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
なら国際映画祭・ならシネマテーク開催支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	なら国際映画祭 平成24年度～、ならシネマテーク 平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	なら国際映画祭では、プロジェクションアートや新人監督作品や学生映画作品などの上映を行う。また、2年に一度の国際映画祭だけでなく、文化的かつ芸術的な作品を鑑賞する定期的な機会と映画を通じた交流機会として、ならシネマテークを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は「なら国際映画祭2016」が奈良公園周辺一帯で開催され、約31,500人の動員があった。また、月に1回開催されるならシネマークも平成27年度に延べ約3,840の方々に映画に親しんでいただいたのに続き、平成28年度も計画通り継続中である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



なら国際映画祭の様子



ならシネマテーク会場風景

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
入江泰吉記念写真賞・ならPHOTO CONTEST開催支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載 している内容	入江泰吉氏の写真芸術は、奈良市民の誇りであるとともに、奈良市にとって貴重な財産であり、それらを活かし ながら、文化振興計画及び創造都市の理念に基づいた文化政策を達成するため、2年に一度入江泰吉記念写 真賞及びなら PHOTO CONTESTを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度に両賞を募集し、第2回入江泰吉記念写真賞には101点、ならPHOTO CONTESTには696点の応募があり、そ れぞれの受賞者を決定した。同年度中に受賞作品の展覧会を入江泰吉記念奈良市写真美術館において開催予定。また、 入江泰吉記念写真賞受賞作の写真集の制作を行う。作品募集・展覧会を通して、日本人の心のふるさとである奈良大和路 を約半世紀にわたって撮り続けた入江氏の業績を顕彰し、本市の文化振興に寄与することができた。事業の質を高めるた め、より一層の周知を図る。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



平成28年9月29日(木) 審査の様子



入江泰吉記念写真賞受賞作「Into the forest」の1枚

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
入江泰吉旧居活用事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	平成27年3月に開館する「入江泰吉旧居」において、文化講座や暗室の活用等の事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は42件の事業を実施した。延べ332人の参加があった。(H29.1.12現在) 事業は写真家・入江泰吉を偲ぶことのできる講演や、周辺の歴史文化を学ぶことのできる講座等を開催している。 これらの事業により、入江泰吉旧居を歴史的風致向上施設として有効に活用できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒計画通り進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



講座:入江泰吉の「ことば」を学ぶ 平成28年4月16日(土)



講座:入江作品で観る、奈良と文楽の魅力 平成28年9月22日(木)

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況			
奈良町にぎわいの家活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成27年度～					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	地域の方々が、集い、楽しみ、伝えあう地域コミュニティの活動拠点とするとともに、奈良町観光の拠点の一つとして、外国人や修学旅行生などの文化交流の体験施設として活用し、さらには、大学とコラボレーションすることにより、茶道や伝統行事等の奈良町文化の発信基地とする。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
大正6年に建築された旧大西家住宅を修理・改修し、平成27年4月18日から奈良町にぎわいの家として一般公開している。町家の空間を活かしたイベントや伝統行事等の実施により、奈良町文化の発信及び継承に寄与している。						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない						

状況を示す写真や資料等

●平成28年度実施事業の例

二十四節気講座
 奈良町「くらし」講座
 町家講座
 かまど体験
 にぎわい体験茶会
 夏休み子ども企画 灯籠作り
 生け花体験、花講座
 足踏みミシン、和裁体験
 コンサート(邦楽、古楽器)
 しめ縄作り

など



二十四節気講座



体験茶会



生け花体験

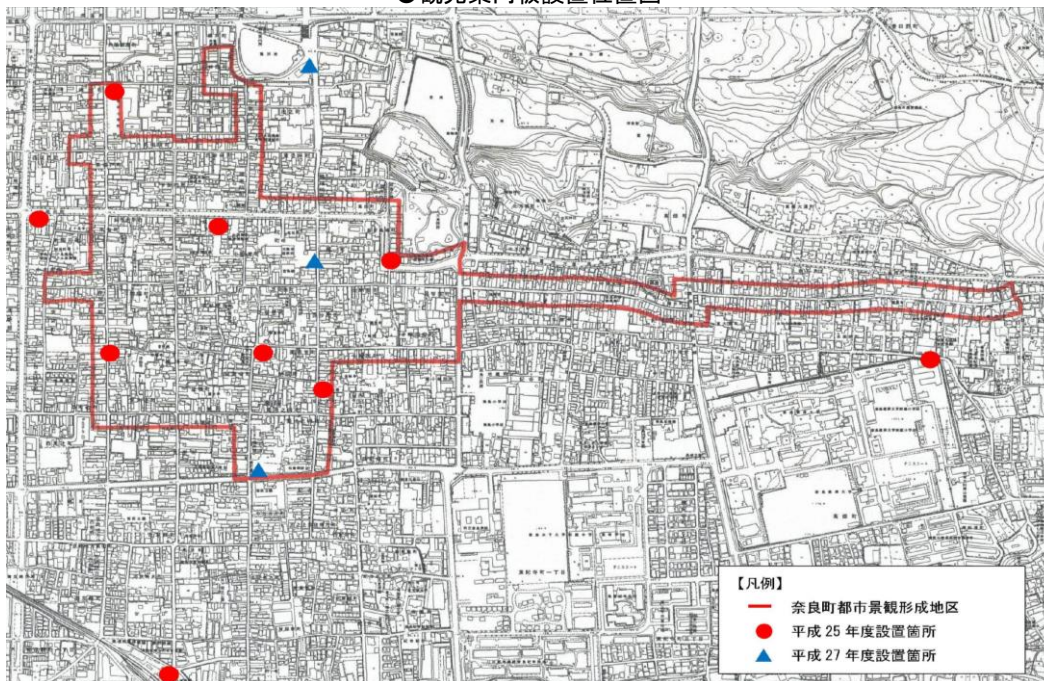
評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
観光案内板整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成36年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (奈良町及び奈良公園重点地区内)、市単独事業(奈良町及び奈良公園重点地区外)		
計画に記載している内容	観光案内板の設置		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度にならまち観光の拠点となる箇所に9基設置し、平成27年度には3基設置した。 平成28年度は実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●観光案内板設置位置図



●観光案内板設置事例(平成27年度設置)



評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財解説板整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	指定・登録文化財の内容や価値を解説する文化財解説板を設置する。(毎年3箇所程度)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の指定文化財等の内容や価値を周知し、その保存活用について理解と関心を深めてもらうために、所在地に対象文化財の内容説明文を中心に、周辺文化財を含めた位置図ならびに外国語(英・中・韓)による名称表記を添えた解説板を設置している。平成28年度には2基(うち1基は重点区域外)を新設し、平成19年度に現行形式での解説板設置を始めて以降の設置数は52基となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●登録有形文化財「木奥家住宅主屋」・奈良市指定文化財「春日座大工木奥家資料」解説板



※上段の文化財登録プレートは既設

評価軸③-24

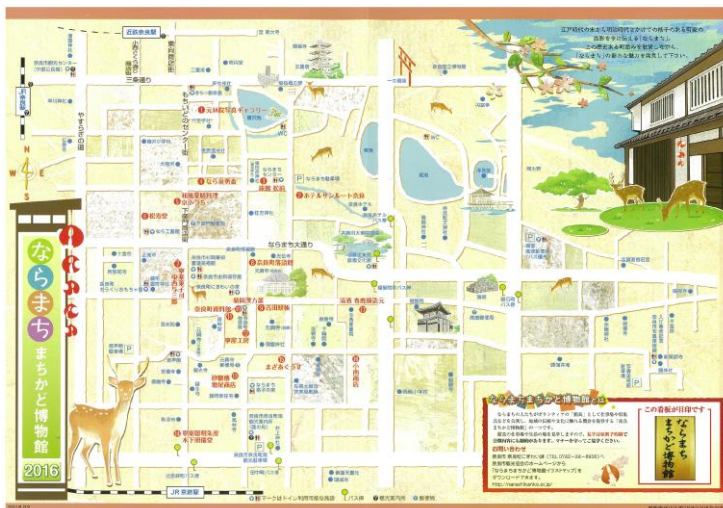
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
奈良まちかど博物館事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成15年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	いままでの博物館とは違い、地域の人たちがボランティアの館長として仕事場の一角や個人の収集品等を公開し、地域の伝統の技や文化に触れる機会を提供する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
奈良きたまち地区は平成15年度に10館が開館(平成26年度に2館が開館)、ならまち地区は平成21年度に20館が開館(平成28年度に2館が開館)している。 また、平成28年度から年に一度館長が一堂に集まる情報交換会を廃止する代わりに、各館長へのアンケートを実施することにより、事業のよりよい運営を目指している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



きたまちまちかど博物館MAP



ならまちまちかど博物館MAP

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
観光客誘致事業(奈良町にぎわい事業)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年(市単独事業)、平成28年度(集約促進景観・歴史的風致形成推進事業)		
支援事業名	市単独事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業		
計画に記載している内容	・宿泊観光客を対象としたならまちナイトカルチャーや修学旅行生を対象とした出前カルチャー、奈良町を巡るウォーキングイベントなど、伝統芸能の鑑賞や工芸体験などができる様々なイベントを実施する。 ・元林院検番演舞場の修理を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・伝統芸能の鑑賞や工芸体験等を行うならまちナイトカルチャーを年4回(計36日間)開催するとともに、まち歩きイベント(10日間)及び出前カルチャー(2件)を実施した。 ・元林院検番演舞場の修理に伴い、実施設計を実施し、工事着手した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

●平成28年度ならまちナイトカルチャー実施状況

	開催日程	参加人数
春	平成28年5月20日～平成28年6月2日(12日間)	362人
夏	平成28年7月29日～平成28年8月7日(6日間)	571人
秋	平成28年10月22日～平成28年11月4日(12日間)	243人
冬	平成29年2月3日～平成29年2月12日(6日間)	61人

演目: 日本舞踊、落語、狂言、雅楽、能、
和菓子作り体験、勾玉アクセサリー作り等



ナイトカルチャーチラシ

●平成28年度まち歩きイベント実施状況
(落語家によるならまち界隈の案内と落語鑑賞)

開催日程: 平成28年7月22日～平成28年10月24日(10日間)
参加人数: 146人



まち歩きイベントの様子

●元林院検番演舞場修理イメージ



【現況】



【修理後(イメージ図)】

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況																												
史料保存館活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																												
事業期間	毎年																														
支援事業名	市単独事業																														
計画に記載している内容	館蔵品を活用し、古文書や絵図等の展示や講座を開催する。 (企画展示2回、スポット展示5回、歴史講座1～2回程度)																														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																															
館蔵の歴史資料を活用した企画展示「ならまち歳時記」を6回、館蔵品ピンポイント紹介のスポット展示6回、奈良町にぎわいの家での出張展示3回、展示テーマにちなむ解説付きガイドツアー(観光ボランティアの会と共催)3回を開催した。また奈良町の古文書等をテキストにした古文書講座(連続2回)を開催した。これらを通して、歴史と文化を活かしたまちづくりへの理解を深める機会とした。																															
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																															
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																															
状況を示す写真や資料等																															
●「ならまち歳時記」 <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th>(入館者数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿と奈良町ー子鹿誕生の季節にちなんでー</td> <td>5月 2日(火)</td> <td>～ 7月 3日(日)</td> <td>6,904人</td> </tr> <tr> <td>春日大社万燈籠ー奉納にこめられた祈りー</td> <td>7月 5日(火)</td> <td>～ 9月 4日(日)</td> <td>5,311人</td> </tr> <tr> <td>近世・近代の元林院町ー絵師の町から花街へー</td> <td>9月 6日(火)</td> <td>～10月23日(日)</td> <td>5,945人</td> </tr> <tr> <td>絵図からみる年中行事ー正倉院展とおん祭ー</td> <td>10月25日(火)</td> <td>～12月18日(日)</td> <td>5,836人</td> </tr> <tr> <td>奈良暦ー新年の始まりー</td> <td>12月20日(火)</td> <td>～ 2月 5日(日)</td> <td>3,692人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="0"> <tbody> <tr> <td>月ヶ瀬の梅</td> <td>2月 7日(火)</td> <td>～ 3月31日(日)</td> <td>5,757人</td> </tr> </tbody> </table> ●「スポット展示」							(入館者数)	鹿と奈良町ー子鹿誕生の季節にちなんでー	5月 2日(火)	～ 7月 3日(日)	6,904人	春日大社万燈籠ー奉納にこめられた祈りー	7月 5日(火)	～ 9月 4日(日)	5,311人	近世・近代の元林院町ー絵師の町から花街へー	9月 6日(火)	～10月23日(日)	5,945人	絵図からみる年中行事ー正倉院展とおん祭ー	10月25日(火)	～12月18日(日)	5,836人	奈良暦ー新年の始まりー	12月20日(火)	～ 2月 5日(日)	3,692人	月ヶ瀬の梅	2月 7日(火)	～ 3月31日(日)	5,757人
			(入館者数)																												
鹿と奈良町ー子鹿誕生の季節にちなんでー	5月 2日(火)	～ 7月 3日(日)	6,904人																												
春日大社万燈籠ー奉納にこめられた祈りー	7月 5日(火)	～ 9月 4日(日)	5,311人																												
近世・近代の元林院町ー絵師の町から花街へー	9月 6日(火)	～10月23日(日)	5,945人																												
絵図からみる年中行事ー正倉院展とおん祭ー	10月25日(火)	～12月18日(日)	5,836人																												
奈良暦ー新年の始まりー	12月20日(火)	～ 2月 5日(日)	3,692人																												
月ヶ瀬の梅	2月 7日(火)	～ 3月31日(日)	5,757人																												
 ならまち歳時記 展示解説  奈良町にぎわいの家 出張展示  解説付ガイドツアー																															

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財講座開催事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	毎年		
支援事業名	市単独事業(一部共催)		
計画に記載している内容	市民を対象に、文化財についての理解を深める講座を開催する。 ・市内各地域の文化財が対象となるよう計画する。・市指定文化財を活用する。・成人向け講座と小学生とその保護者向け講座を開催する。・内容に応じて、講義・現地見学・体験を適宜組み合わせる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・奈良市文化財講座「奈良の文化財をもっと知る講座2016」 (1) 7月24日「赤膚焼登り窯修理体験～登り窯の壁土塗りに挑戦!～」 参加者(小学生以上) 22名 (2) 8月20日「昔のくらし体験 ～かまどでごはんを炊こう!～」 参加者(小学生・保護者) 20名 (3) 10月 2日「古仏に親しむ ～奈良町の名品特別見学～」 参加者(中学生以上) 16名 (4) 12月10日「大和の年中行事体験」 参加者(小学生以上) 14名 (5) 3月18日「歴史探訪 大安寺と八幡神社」 参加者(中学生以上) 32名 ※(1)(2)(4)(5)は重点区域外での実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
●奈良市文化財講座(3) 10月2日(日) 参加者16名 「古仏に親しむ ～奈良町の名品特別見学～」			
			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財調査、指定			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	未指定文化財を中心に文化財基礎調査を実施 奈良市指定文化財の指定、登録文化財の登録		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・(1)近世近代建造物調査、(2)庭園調査、(3)月ヶ瀬・都祁地域指定文化財関連調査を計画に従い実施中。(1)の一部は奈良県建築士会と協働で、(2)は奈良文化財研究所との連携研究として実施している。 ・各文化財分野で行ってきた調査の成果をもとに、4件を市指定文化財に指定。登録文化財は、奈良町の町家等の登録を進めており、当市からの意見具申に基づき新たに4件(2か所)が登録された。さらに4件(1か所)について新たに意見具申した他、引き続き候補物件の調査等を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

●近世近代建造物調査

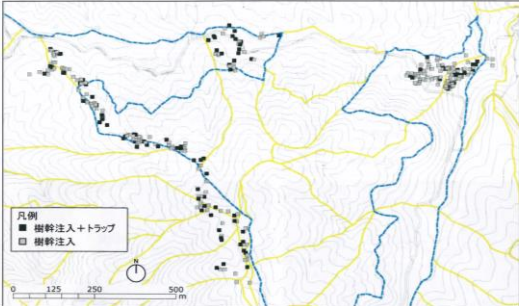


●庭園調査



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況																																				
文化財の修理(整備)、管理、周辺環境の保全、など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																																				
計画に記載している内容	国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業、史跡興福寺旧境内記念物保存修理、名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業等、建造物や記念物の修理・整備事業の実施、ナラ枯れ対策などの取り組み																																						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																							
評価軸③-1、③-2参照。 名勝旧大乘院庭園の管理(荒廃防止)事業に補助金交付。 春日山原始林保全計画検討委員会に出席。 国、県、市指定の建造物、記念物等の文化財(16件)と文化財保存公開施設(3か所)の管理(委託)。																																							
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない																																							
状況を示す写真や資料等																																							
● 国宝春日大社本社本殿ほか13棟保存修理事業 評価軸③-1参照  ● 史跡興福寺旧境内記念物保存修理 評価軸③-2参照  ● 名勝旧大乘院庭園管理(名勝庭園荒廃防止)事業  ● 春日山原始林保全計画検討委員会に出席 春日山原始林保全計画検討委員会 第10回 平成29年2月9日 2) 平成28年度におけるナラ枯れ被害対策 平成28年度は、ナラ枯れ未被害木に対する予防対策として、下表のとおり、高濃度濃縮タイプの殺菌剤の樹幹注入を行い、併せてペットボトルトラップの設置を実施した。 <table border="1"><caption>表9 平成28年度における薬剤注入等の実施状況</caption><thead><tr><th>樹種</th><th>本数</th><th>注入孔数</th><th>1本当たり注入孔数</th><th>平均胸高直径(cm)</th><th>トラップ設置数</th></tr></thead><tbody><tr><td>カシ</td><td>167</td><td>2679</td><td>16.0</td><td>47.7</td><td>64</td></tr><tr><td>コナラ</td><td>2</td><td>21</td><td>10.5</td><td>38.5</td><td>1</td></tr><tr><td>シイ</td><td>118</td><td>2539</td><td>21.5</td><td>57.6</td><td>31</td></tr><tr><td>シイカシ</td><td>1</td><td>27</td><td>27.0</td><td>64.0</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>288</td><td>5266</td><td>18.3</td><td>51.8</td><td>97</td></tr></tbody></table>  図9 平成28年度におけるナラ枯れ被害対策実施箇所 出典：平成28年5月20日付奈良県第154号の2で奈良市長の承認を得て、平成29年5月奈良市都市計画課作成の地形図に情報を付加したものです。 (奈良県春日山原始林保全計画検討委員会資料より)				樹種	本数	注入孔数	1本当たり注入孔数	平均胸高直径(cm)	トラップ設置数	カシ	167	2679	16.0	47.7	64	コナラ	2	21	10.5	38.5	1	シイ	118	2539	21.5	57.6	31	シイカシ	1	27	27.0	64.0	1	合計	288	5266	18.3	51.8	97
樹種	本数	注入孔数	1本当たり注入孔数	平均胸高直径(cm)	トラップ設置数																																		
カシ	167	2679	16.0	47.7	64																																		
コナラ	2	21	10.5	38.5	1																																		
シイ	118	2539	21.5	57.6	31																																		
シイカシ	1	27	27.0	64.0	1																																		
合計	288	5266	18.3	51.8	97																																		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の防災			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	興福寺の防災施設事業 自主防災体制の充実、強化を図るため、定期的に防災訓練や広報を実施 文化財所有者と合同の消防訓練等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
興福寺五重塔ほか防災施設事業に補助金を交付。 平成29年2月28日、「文化財防火ゼミナール」開催。 平成29年1月26日・27日・28日、3か所で消防局と文化財所有者の合同の文化財防火訓練を実施。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

- 興福寺五重塔ほか防災施設事業
消火設備改修ほか



総合防災センター

- 霊山寺本堂ほか防災施設事業
消火設備改修



- 防災訓練
 1月26日(木) 会場:唐招提寺
 参加者 唐招提寺自衛消防隊15名
 消防職団員45名、8車両
 県防災ヘリ1機、女性防災クラブ40名



- 文化財防火ゼミナール
 2月28日(火)
 会場:奈良文化財研究所平城宮跡資料館講堂
 参加者 100名



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財講座開催事業・文化財解説板整備事業・史料保存館活用事業 指定文化財の保存管理や継承を担っている団体に対して補助金を交付 団体と適宜連携し、市民と行政の協働による文化財の保存・活用を推進		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
評価軸③-23、③-26、③-27参照。 奈良市文化財講座の(1)は市教育委員会と赤膚山元窯保存会の共催、(2)(4)は市教育委員会と奈良市生涯学習財団都跡公民館の共催。 平成28年度、文化財関係10団体に計7,130千円の文化財補助金を交付。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

評価軸③-23、③-26、③-27参照

- 奈良市文化財講座 (1) 7月24日(日) 参加者22名
 「赤膚焼登り窯修理体験～登り窯の壁土塗りに挑戦!～」



- 奈良市文化財講座 (4) 12月10日(土) 参加者14名
 「大和の年中行事体験」



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	平成28年度
年月日		掲載紙等	
奈良県観光活性化ファンド第1号 青田家住宅		平成28年4月13日	奈良新聞
優美な花街文化体験を「ならまち花あかり」		平成29年1月17日	産経新聞
奈良町からくりおもちゃ館		平成28年8月31日	毎日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年2月23日に「歴史的風致維持向上計画」が認定され奈良町・奈良公園を重点区域とした計画に位置付けられた事業について、多くの報道がされ、市民への周知につながっていると考えます。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

項目		評価対象年度	平成28年度
「観光の振興」に向けた官民協働の取組			
計画に記載している内容	平成4年に策定した「ならまち賑わい構想」を基に、奈良町を中心に歴史的風致を生かす観光振興に官民協働で取り組んでいる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
ならまち界限を中心に行われている「ならまちわらべうたフェスタ」は、ならまちセンターをメイン会場として、各会場で模擬店や物産展などが開かれており、平成28年で24年目を迎える。また、奈良市で初めて、地元の皆様との協働により運営される観光案内施設「旧鍋屋交番 きたまち案内所(奈良市きたまち鍋屋観光案内所)」が平成24年7月1日に半田横町にオープンし5年目を迎える。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画の進捗に影響あり ☐ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
わらべうたは子どもたちによって遊びの中で伝えられ、それぞれの時代の子どもの様子や人々の文化が表現されている貴重な無形文化遺産と位置づけ、「ならまちをわらべうたの似合うまちに」「ならまちからわらべうたを世界に発信しよう」を合言葉に、産官学だけでなく民までを含んだ産官学民連携による実行委員会形式で開催している。これら20～30の団体が参加し一体となり、近鉄奈良駅から音声館までの道のりを「わらべうたロード」と題しわらべうたに歌われている情景や遊びのイベントブースをならまちの中に点在する様々な施設を活用し界わいを回遊しながら楽しめるお祭りとして、10月第3日曜日に実施。   わらべうたフェスタの様子(平成28年10月16日) この建物は、長らく「鍋屋の交番」として親しまれてきた旧奈良警察署鍋屋連絡所(明治41年設置、昭和3年に現在の半田横町に移転)を改築したものです。地域住民の安心のよりどころとして、その役目を終えて数年、一時傷みも目立つようになっていましたが、地域の声により保存、改修を経て新たに生まれ変わりました。独特な洋風の外観はそのまま生かし、きたまちの玄関口で、地域の観光案内や地域活動の活性化、大学の研究・教育拠点など、さまざまな活動を実践していくことを目指しています。  旧鍋屋交番 きたまち案内所 (奈良市きたまち鍋屋観光案内所)			

評価対象年度	平成28年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 第6回 なら歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時： 平成29年2月23日(木) 15時30分	
(コメントの概要) ・事業の質の評価について ③-3、③-4、③-10の歴史的風致形成建築物及び都市景観形成地区建築物の修理・修景事業については、要綱の改正が検討されるなど、質を高めるための取り組みが窺えた。いい方向に進んでいるように思うが、このような事業内容の質の向上が他の事業でも図られているのかを評価する仕組みがあった方が良い。 内容の質が担保されているか、高まっているかなどについて、事業毎に何らかの方法で評価するような仕組みを検討してもらいたい。 また、質の評価については、その結果が評価シートにも表現されていると、わかりやすく良いように思う。 ・事業の周知について ③-6の「奈良町町家バンク事業」について、利用希望者に比べ登録物件数が少ないが、認知度が低いのではないだろうか。HPで周知する方法以外にも、認知度が高まるような改善を期待する。	
(今後の対応方針) ・事業の質の評価について 歴史的風致形成建築物及び都市景観形成地区建築物の修理・修景については、今後、事業内容(事業費や補助額)を写真と共に公開する予定であり、その上で、どのような効果があったのかを評価していく。また、協議会においても、個別の事例について詳しく評価できるような報告の方法を検討する。 ・事業の周知について 奈良町町家バンク事業は、今までは居住者にしかパンフレットを送付できず、所有者に周知できなかったが、今後は所有者(納税者)に直接パンフレットを送付するように改善を計画している。	